

「東日本大震災からの相馬市の復興」を学ぶ機会の取組について

1 取組までの経緯

東日本大震災発生から10年以上が経過し、震災当時を知らない若い世代が増えてきています。(現小学6年生：平成22年4月生まれ～平成23年3月生まれ)

震災の風化を防ぎ、後世へ語り継いでいくことは、将来、同様の災害が発生した際に命を守るうえで重要なことであります。また、震災による相馬市の被害や、どのように復興を果たしてきたかを学ぶことは、防災意識を高めるだけではなく、児童生徒の郷土愛を育み、相馬市の将来を担う人材として健全に育つためのきっかけに繋がると期待しております。

そのため、令和3年6月に作成した小学生向け震災・復興学習資料(相馬市まちづくり出前講座)を活用し、児童生徒に震災からの相馬市の復興を学ぶ機会を提供してきました。

2 まちづくり出前講座の概要

タイトル 「相馬市の復興～東日本大震災を乗り越えて～」

講師 相馬市役所 企画政策課職員

内容 震災の概要や相馬市の被害状況、復興のあゆみなどをクイズ形式で出題し児童が回答する(全10問)。講義後、グループワークを実施し、児童がこれから自らできることは何かを考え、発表する形式。

講座時間 100分程度(約2校時分)



3 活動報告(まちづくり出前講座)

①令和3年6月24日(木) 5～6校時
桜丘小学校 5年生(80名参加)

②令和4年6月30日(木) 2校時
桜丘小学校 5年1組(28名参加)

③令和4年6月30日(木) 3校時
桜丘小学校 5年3組(27名参加)

④令和4年6月30日(木) 4校時
桜丘小学校 5年2組(26名参加)

⑤令和4年9月14日(水) 3～4校時
中村第二小学校 4年生(75名参加)



講座回数 計5回
参加児童 計236名

【グループワーク後の発表一例】

- ・避難できる場所を家族と確認する
- ・災害の時はみんなで助け合う
- ・防災バックや食糧を備える
- ・震災であった事を自分たちが伝える
- ・相馬市の食材を積極的に食べる